



ウィル

WHILLカルテ Profile No.7



USER INFO

M様

男性 / 40代 / 166cm・57kg

身体障害者手帳2級

医療従事者

WHILL Model C2を月額レンタル(2021年~)、補装具として杖を利用。これまでは杖のみ。

筋繊維痛症

現在の体の状態

立上り	自力で可能
歩行	可能だが激痛を伴う (座っていても痛みが出る)
運動	自宅内:独歩 外出時:WHILL
移乗	自力で可能

身体状況

5歳で筋繊維痛症を発症。足に激痛があり小学生の頃から薬で鎮痛していた。歩くことは可能だが痛みにより体力が奪われるため、長距離・長時間は厳しい。仕事柄、全国を飛び回ること多く、移動に伴う痛みがいよいよつらくなり、WHILLをレンタルし始めた。

住環境・周辺状況

都心にお住まいで自宅周辺にスーパーやコンビニ、生活に必要な店や施設がそろっている。ざっと買い物をするときは杖を使って徒歩で行く。1km圏内にある病院や大きな主要駅へはWHILLで移動する。WHILLの保管は、天気や前後のスケジュールに応じて自分で分解して家の中に入れる場合と、ほこりなどがつかないようにシートを被せて自宅前に置いておく場合がある。



WHILLとの出会い～移動への身体的心理的負担が～

幼い頃から痛みと鎮痛剤による副作用に耐えながら生活や仕事をしたりしていましたが、これ以上耐えられないと感じ、『電動、車椅子、かっこいい』などで検索したところ、WHILLを見つけました。そのスタイリッシュさに『なんだこれ!』と驚き、すぐに月額でのレンタルを申し込みました。仕事内容や役職上、スーツを着たり人前に出たりすることも多く、(車椅子に)乗っていても違和感がないカッコいいものを選びたかったので、シンプルなデザインのWHILLは本当に気に入っています。

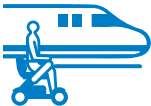
<ある1日のスケジュール>

	出張がある日※新幹線で前日入り	在宅勤務の日
7:00	起床	起床
9:00	往診開始(WHILLを分解して車載、移動) クラスター施設や個人宅を往診巡回	業務開始オンラインミーティング
11:30	カルテや書類記載、現場を 回って分かった課題を抽出	チームメンバーとやりとりしながら デスクワークなど
12:00	移動の合間に昼食	WHILLで外にランチ
13:00	チームと業務改善mtg(解決策など策定) コーディネーターと業務効率化mtg、	業務再開
15:00	業界団体や行政と打ち合わせなど	業務の合間や休憩中にYoutube動画(筋肉 トレーニング)を見ながら身体をメンテナンス
18:00	夕食	身体をほぐしにプールでトレーニング
20:00	お風呂	夕食:WHILLで買いに行ったり外食したり
24:00	就寝	就寝



WHILLがある前と後の生活について

こちらは電動車いす使用者による生活の変化を示すものであり、電動車いすによる医療機器の効能効果を示すものではありません。

	外出頻度	行動範囲	身体状況	移動への考え方
利用前	出張が年に数回ほど	痛みに耐えながら歩くので、目的地までは最短ルートで行く	鎮痛剤を頻繁に服薬。副作用に苦しむことも多かった。	目的地に着くまでの「戦い」に耐える日々
利用後	 出張が月に3回以上	 目的地まで、少し遠回りや寄り道することが増えた	 服薬頻度が減少。副作用も軽減。	 周りの景色を見るなど、心の余裕・移動そのものの楽しみが増えた

気持ちや行動の変容～できることがWHILLによって増えたことが嬉しい～

「大きく変化があったのは、移動・外出への考え方です。WHILLがなかったときは痛みや副作用に耐えられるかをまず考えていましたし、鎮痛剤の使用量も多かったです。目的地までの地図を見て『駅から離れている、しんどいな…』と覚えることもありました。WHILLがあると、薬による副作用や体力が保つかなどを考えずに移動できるようになり、気持ち的に本当に楽になりました。坂を登る、周りの景色を見る、風や小鳥のさえずりなど、移動そのものを楽しめる余裕が生まれ、人生の楽しみの幅が増えたような気がします。また、歩きだと時間がかかるから早め早めに移動して、とスケジュールや家を出る時間を逆算しなければいけませんでした。が、WHILLは6km/hで走れるので、逆算するストレスからも解放されました。」



実際のWHILLの使い方

仕事は何足の草鞋も履いているので、毎週どこかに出張する日々を送っています。WHILLで新幹線に乗って関西などへ行きますし、飛行機にWHILLを積んで北海道へも行きました。若い頃から精力的に仕事をしてきましたが、常に痛みを抱え、それを抑えるための薬の副作用で苦しむといった負のループに陥っていました。WHILLではそのループを断ち切れ、身体的苦痛の軽減はもちろんのこと、副作用はどれくらいか、目的地までの痛みを我慢できるかといった心理的負担から解放されたことが一番嬉しいです。海外・国内旅行が好きなので、状況が落ち着いたらまとまった休みを取ってチェコへ行きたいと考えています。飛行機など別の交通手段を利用しながら持ち運べる方がいいかなと思ひ、折りたためるModel Fの購入を検討しています。



WHILLでフェリーに乗船

ウィル モデル シー ツー

WHILL Model C2

近距離モビリティ

免許不要、歩道での走行可能

メーカー希望小売価格 487,000 円 (送料調整費別)

介護保険制度でレンタルの場合 約2,700 円/月

補装具費支給制度で購入の場合 0円～10万円(目安)

※制度の利用には条件があり、自治体への申請が必要です。
詳しくはお問合せください。



ウィル

WHILL株式会社  0120-696-527

本資料の記載内容は発行月時点のもので、仕様および記載内容は予告なく変更することがあります。

2025.07

スペック詳細

走行距離	20km ※路面状況などにより変化
最高速度*	6km/h
段差乗越	5cm
登坂力	10度*
最小回転半径	760mm
サイズ (幅×長さ×高さ)	554×985×745-945mm
重さ	約52kg
充電時間	5時間
最大荷重	115kg

WHILL Model C2の
紹介動画もご用意しております。

こちらの
QRコードから
ご覧いただけます。



平日9:00~18:00
※通話料無料